側壁誘発目地メッシュ作成例(底版と側壁のあるモデル)



- 1. 視点位置を YZ 平面にして、透視図描画にします。
- 2. [変更]-[要素変更]-[分割]で誘発目地を作成する対象要素群を指定します。

■要素変更(CHAN)	×
分割方法(型: 2分割 ▼	<u>OK</u>
	キャンセル
	リセット(<u>R</u>)
☑ 座標系(C) 座標系	^ルフ°(<u>H</u>)
番号(<u>D</u>): 0 タイプ(<u>T</u>): N ▼	
□ 隣接要素も分割(2次元3,4角形のみ)(E)	
指定方法(E): ボックス 💌	

「分割方法」は2分割を選択。分割方向は全体座標系のY方向を指定(座標系をチェックして、座標系番号=0、タイプ=Nを指定。分割方向Ux2をチェック)。指定方法はボックスを 選択。

(隣接要素も分割は2次元要素のみ有効で、3次元要素は対象外です。)

PRE-PROCESSOR FOR JCMAC3													Z.	
									対象要素	群を;	ボック	ウフ	、で	選択
													_	
													_	
jc	ļai													

PRE	PRE-PROCESSOR FOR JCMACS												
+	-											_	
┝	-											_	
je	Ô											-	



3. [変更]-[節点座標]で分割した要素群の分割ラインを誘発目地位置まで移動させます。

■ 節点座標修正(MODI)	×
修正対象(E): <mark>ボックス ▼</mark>	OK
	キャンセル
	リセット(<u>R</u>)
指定方法 「 座標値(P) C 増分値(N) C 倍率(M)	<u>^⊮フ°(H)</u>
□ 第1成分①: □ /坐標系◎/	
▼ 第2成分②: 9.5 番号(①): □	
□ 第3成分③:	

修正対象はボックスー節点を選択。「指定方法」は座標値を選択。座標値の第2成分(Y方向) をチェックして、誘発目地位置の座標値を入力。

※本例では座標値で移動させていますが、移動量を指定して移動させる方法(上記で増分値 で指定、または[変更]-[移動]-[平行])もあります。

PRE-PROCESSOR FOR JONACS							-	-	対	象節	節点群をオ	ミック	スで	選打	択
+	+						_								-
] [
je	Ĵ														

PRE	PRE-PROCESSOR FOR JCMAC3											
+												
jc	Ô											

4. 操作2.と同じ手順で要素を分割します。



PRE	YRE-PROCESSOR FOR JEMACS Z												
+	-												H
													\Box
jc	Ô												



5. 操作 3.と同じ手順で、誘発目地の幅に応じて分割ラインを移動させます。

6. [変更]・[節点併合]を実行して、節点のマージを行います。

